温暖化に対応したデントコーン二期作適性品種群の選定

【背景と目的】

輸入飼料価格の高騰が続く中、畜産経営の安定化に向けて自給飼料の増産が求められている。

東京都では令和２年度にデントコーン二期作の作付け指針を策定したが、その後も温暖化が進行し、高温や乾燥に強い新品種が普及している。そこで、温暖化環境下における飼料用トウモロコシデントコーン二期作に適した品種を選定するとともに、安定生産に必要な条件を明らかにし、新たな作付け指針の作成を目指す。

【研究概要】

（１）デントコーン品種の二期作適性評価

熟期の異なるデントコーン品種について、春播き及び夏播き栽培試験を実施する。収量や飼料品質、生育特性を調査し、二期作に適した品種を選定する。

（２）安定生産を阻害する要因の解明

害虫の発生状況や倒伏の発生程度を調査し、二期作栽培における生産性低下要因を明らかにする。

（３）気象条件と生育特性の関係解明

積算温度などの気象データと生育・収量との関係を解析し、安定して二期作が成立する条件を明らかにする。

（４）温暖化に対応した作付け指針の作成

得られた成果を基に、品種と播種時期の組合せを整理し、温暖化に対応したデントコーン二期作の作付け指針を作成する。